



市待待

年

九月

廿九日

及

一

二

三

四

五

六

七

八

九



雪の光を散らすの
如くは三十一日の
まよひの心三十一日の
あけぬふも出る様
だどこのぬい草はあ
いぬ。長婚向不
見にあはれをよするあ
まはゆきぶ。あまよ
りにあはれあのをあま
及らう子あはれせん
えれ玉一 ねえ

全

所縁野

夏目漱石手東

菅虎雄宛
岩波版漱石全集
書簡篇所収



山崎石續明治文學史下卷に収む 市河久雄





十日
水戸川 曉之聲可七

共信 佛 旋 抄



在江西北所十元

入 其日生已 西